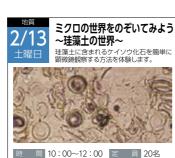
館講

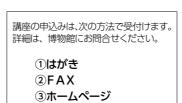






対象 小学生以上 場 所 研修室2

募集期間 1月16日田~1月30日田

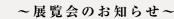


TEL 0985-24-2071 FAX 0985-24-2199

④来館時に総合案内

場(宮崎県総合博物館)特展室

800円







計 期	半成28:	年3月3日(水)~4月14日((不)
	休館日	火曜日	

観覧料	

1,000円 600円 ※中学生以下無料 ※割引券は宮崎日日新聞広告等に掲載

| 宮崎日日新聞社事業局 ☎0985-26-9303 ※会期・観覧料は変更になる場合もあります。

展示解説員の声

体験できる「むかしのあそび」

第1、3、5 土曜日の9時から16時の間、2階歴史展示室 の時代の広場では、「むかしのあそび」を体験することがで きます。

「めんこ」や「けん玉」「おはじき」「お手玉」 などのおもち ゃに加えて、今年から手作りの「ぶんぶんごま」も加わりま した。「ぶんぶんごま」は、厚紙にたこ糸を通して簡単に作 ることができるおもちゃで、ねじったたこ糸を引っ張った り緩めたりすると、「ぶんぶん」と音が鳴ります。昔から伝 わるおもちゃは、体の使い方や力の入れ具合などコツが必 要なものが多く、「ぶんぶんごま」もちょっとしたコツが必 要です。もちろん、私たち解説員がお手伝いします! 上 手に回せるようになった子どもたちの誇らしげな顔を見



ると、私たちも嬉しくなります。

いろいろなむかしのおもちゃで遊べる[むかしのあそ び」体験に、ぜひお越し下さい!(田爪)

観覧時間・ 休館日の お知らせ

観覧時間 休館日 9:00~17:00(入館は16:30まで)

毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)

★12/28例~1/5火は、年末年始のため休館いたします。 ★2/22例~3/1例は、館内メンテナンスのため休館します。 宮崎県総合博物館

博物館のホームページにはイベント情報、 寄せ られた質問とその答え、過去の「森の通信」、職員ブ ログなどの情報が盛りだくさんです。 ぜひアクセスしてみてください。



講座紹介

佐土原人形絵付け体験

佐土原人形製作所の「ますや」は、江戸時代の終わり頃から代々佐土原人形を製作してきたお店です。お店のご主人である阪本兼次さんと奥さんの由美子さんを講師に、素焼きの人形に色付けをする絵付け体験を実施しました。

干支の土鈴をはじめ、饅頭喰い人形や歌舞伎人形、風俗人形など絵付けをする人形を選んで、その人形に絵付けをしました。既製品を見ながら色づけしたり、自分の思うように色づけをしたりしました。材料費が必要ですが、自分オリジナルの人形ができます。

この体験を通して佐土原人形の魅力を再認識した講座 でした。 (小山)

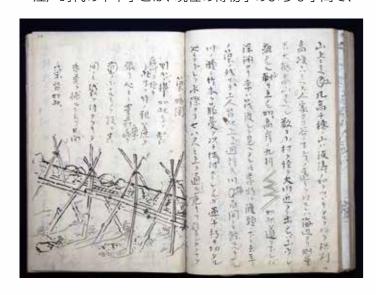


宮崎の歴史情報

延岡藩の薬草調査をした"賀来飛霞"生誕200年!

戸時代の終わり、本草学者の賀来飛霞 (1816~1894) は、延岡領内の薬草調査をしました。平成28年は、賀来飛霞が生まれて200年目になります。

江戸時代の本草学とは、現在の博物学のような学問で、



植物や動物などを採集したり、観察したりしました。賀来飛霞は、飯沼慾斎・伊藤圭介とともに、三大本草学者のひとりと言われています。

幕末の延岡藩は、採薬事業を興し、その利益で藩財政の立直しを図ろうと考えていました。そのため、弘化元年(1844)に豊後国国東郡高田村(現、大分県豊後高田市)で医者をしていた賀来飛霞に、領内の薬草調査を依頼しました。

この依頼に応え、賀来飛霞は弘化2年3月から5月にかけて、現在の延岡市、日之影町、美郷町、諸塚村、日向市を歩き、調査をしました。このときの記録を日記のようにまとめたのが「高千穂採薬記」(宮崎神宮所蔵、本館寄託)です。この「高千穂採薬記」には、調査した村で見られた植物の名前のほか、椎茸栽培や焼き畑の様子を書いたり、農具や簗(鮎簗)のイラストを描いたりしています。当時の延岡藩領の自然だけでなく、人々の生活を知ることができる貴重な資料です。(佐藤)

自然史展示室紹介

身近にいるカメ

無対しています。イシガメ、クサガメ、スッポン、ミシシッピアカミミガメの4種類です。最近よく見かけるのが、ミドリガメとして輸入されたものが野生化したミシシッピアカミミガメです。それぞれのカメの特徴は、ミシシッピアカミミガメは目の後ろに赤い斑紋があります。イシガメは、甲羅の後縁部がギザギザしています。クサガメは甲羅に3本の炎りがみられます。



イシガメ

メ クサガン

ス

スッポン ミシシッピアカミミガ>

スッポンは甲羅が平べったいのが特徴です。これらのカメは、よく日光浴をしていますので、身近で観察することができます。身近で見かけたカメの名前が分かるとちょっとうれしくなります。ぜひ、は虫類のコーナーで、それぞれのカメの特徴を再確認して下さい。(横倉)

収蔵資料紹介

西都市三納産造礁サンゴ化石

山竹義氏(元県教育長)から寄贈いただいた造礁サンゴ化石を紹介します。この標本は、笹山氏ご自身が少年期(1955年~1960年頃)に、西都市三納で採集し保有していた化石で、当館に寄贈いただいたものです。寄贈に合わせて当館が行った現地調査では、化石を多量に含む露頭は見いだせず、既に道路造成のため大部分が消失したものと考えられていました。しかし、2004年と2005年に当館が詳細な再調査を行った結果、造礁サンゴ化石を多量に含む露頭を確認することできました。

日本列島の後期中新世〜初期鮮新世(700万〜600万年前)の造礁サンゴ化石については、山梨県で産出する以外では、宮崎市高岡町の瓜田ダム週辺に大規模に分布してい



キクメイシの仲間(西都市三納産)

るほか、綾町上畑でも同様の化石が少量確認されていました。西都市三納での露頭の確認によって、同時期の造礁サンゴ化石の分布域が広域に広がったことになります。このことは当時の宮崎が亜熱帯性海洋気候に支配されていたことを示唆しており、寄贈いただいた標本の重要度が増すこととなりました。

これらの標本については、1月16日からの特別展「特選! 蔵出し展」で展示公開します。(松田)

利用者からの問合せ

「こんなところから竹が出ているが、どうして?、」

「電柱の中から竹が生えている!」、「桜の木から竹が生えている!」と色々なところから「竹」が生えているといった問合わせが時々あります。調べてみると、その近くには必ず竹が生えていることがわかりました。どうやら、パイプのように中が空いている電柱や、古くなり弱った樹木の中を突き抜けて竹が生えているようです。何とも不思議な姿に見えますが、植物の力強さを感じます。(岩切)

